

シルバー

# やちよ

<https://webc.sjc.ne.jp/yachiyo/>

No.  
128  
2021.1.1 発行

公益社団法人  
八千代市シルバー人材センター

〒276-0046 千葉県八千代市大和田新田 312 番地の 5 福祉センター 1 階  
電話 :047-484-4680 FAX:047-484-9544  
会員数 714 名 (男 562 名、女 152 名) 令和 2 年 12 月末現在

## 新春号

## 謹賀新年

自主  
自立  
共働  
共助

作品の題：朝日に映える富士  
撮影地：三ッ峠山（標高 1785m）頂上  
撮影日時：2015 年 12 月 8 日午前 7 時  
撮影者：荒井和男 高津班



女性部

# 百合の会

## 目次

会長挨拶	1
市長挨拶	2
事務局長・次長挨拶	3
社会福祉協議会事務局長 村田和子	4
20年表彰 春山茂雄	5
10年表彰 井上捷二	6
10年表彰 井上忠夫	7
10年表彰 楠 修	8
10年表彰 川島隆一・熊代マツ子	9
交流の場「つどい」	10～11
女性部「百合の会」女性会員委員会委員長 外山ノブ子	12
女性はじめて刈払機 春田ミチ子	13
空き缶で風車作り 阿井秀次	14～16
傘寿を迎えて 野中義行	17
会員になって思う事 丸山邦夫	18
ボランティア活動体験 大井幸登	19
八千代市の歴史 渡部秋夫	20～27
シルバー派遣事業	28～29
事務局職員奮闘記 中里・服部	30
事務局職員紹介	31～32

## 会 長 挨拶

皆様明けましておめでとうございます。会員の皆さまのお力添えにより、当センターの事業運営を滞りなく遂行でき、このように新年を迎えることができましたことに心から感謝申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により生活様式の変化を求められ、会員の就業及び事務局の運営についても様々な対応・対策を求められた年でした。

幸いにも当センターの会員及び事務局スタッフから感染者が出ることなく新年を迎えられたことは一人ひとりの日々の感染予防対策の賜物であると感じております。

本年においても引き続き感染予防対策を実施しつつ、十分な就業機会の確保と独自事業を含む新たな就業開拓を行うための取組みを強化するなど、コロナ禍における生きがい就業の充実を図りたいと考えております。

また、令和3年度は第3次中期5か年計画の最終年度であり、当該計画の着実な推進とともに次期計画策定に向けた検討を行なって参ります。

当該計画の基本目標の1つでもある当センターの会員数を見てみると、県内7番目の人口規模である八千代市のシルバー人材センターとして、お客様のニーズに十分応えられるだけの会員数にはまだまだ達していないのが実情です。このため、今年は特に女性会員の入会を促進するために当センターの魅力を積極的にPRして参ります。

当センターは、「自主・自立、共働・共助」の基本理念に基づき、地域の高齢者が、生活している地域で、自主的に連帯して、共に働き、共に助け合っていくことを目指しています。

そして、会員一人ひとりが元気で明るく生き生きと働く姿を地域の皆様に見ていただき、まち全体を活気づけられれば幸いです。

結びに、本年が会員の皆さまにとりまして健やかで素晴らしい年になりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



代表理事（会長）  
大井 幸登

## 市長挨拶

皆様あけましておめでとうございます。旧年中は市政へのご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。

さて、去年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、緊急事態宣言による外出自粛や休業要請をはじめ、東京オリンピック・パラリンピックをはじめとするさまざまなイベントが中止や延期を余儀なくされるなど例年とは異なる一年でございました。

こうしたコロナ禍で、新しい生活様式による感染防止が求められる中、市長として市民の皆様の生活を最優先に考え、中小企業経営支援やひとり親家庭への支援の拡充、災害時における避難所の衛生環境を保つための備蓄用品の追加や学校再開に伴う感染症対策、キャッシュレス決済の促進や学校現場のICT化などを進めるほか、高齢者インフルエンザ予防接種の無償化やPCR検査体制の充実を図ってまいりました。

そのような状況の中ではございましたが、本市においては明るいニュースもありました。昨年3月末には、本市の人口が20万人を突破しました。これは、市民の皆様や八千代市シルバー人材センターをはじめとする市内の事業者、団体の皆様をはじめ、本市に係わってきた多くの方々が、それぞれの立場でまちづくりに参加し、本市の魅力づくりを続けてきたこと、また、その魅力が様々な方に評価された結果であると考えております。これまで、本市のまちづくりに係わってくださった、全ての皆様に対しまして、厚く御礼を申し上げます。

今年も20万人都市を支えるという大きな責任に身を引き締め、市民の皆様一人ひとりが、さらに住みやすく、魅力のあるまちづくりに全力で取り組んでまいります。

結びに、本年が八千代市シルバー人材センター会員の皆さまにとって輝かしい年となりますことを心よりお祈りいたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



八千代市長  
服部 友則

## 局長挨拶

新年おめでとうございます。

旧年中はお世話になりました。おかげさまで新人事務局長として、大過なく新年を迎えることができました。新たな年を迎え、気持ちを引き締めて職務に臨みたいと思っております。

さて、去年は新型コロナウイルスに始まり、新型コロナウイルスで暮れた一年でございました。幸いにも、これまで会員の感染はございませんでしたが、油断せず、引き続き手洗いやマスクの着用など、感染予防をよろしく願います。

シルバー人材センターで働く会員の皆さまが持っている、豊かな知識や技術・経験は、かけがえのない社会的資源であり、こうした知識や経験・技能を、就労を通じて社会に提供していくことによって、高齢者自身も「生きがい」や「やりがい」を得ることができます。そして、高齢者の方々が満足のいく生き方をすることによって、高齢者のみならず、子どもや若者などみんなの人生が、もっともっと充実したものになると私は思っています。

新型コロナウイルス感染症の終息はまだまだ見通せない中ではございますが、コロナに負けず、健康で生きがいのある生活の実現と、地域社会における福祉の向上に寄与することを目指して、お互い頑張っていきましょう。

皆さん、今年もよろしく願います。



事務局長（常務理事）  
青井 憲治

---

## 次長挨拶

皆様明けましておめでとうございます。昨年4月に内部事務の適正化を使命に市役所から派遣され早9か月が経過しました。事務局職員はもとより会員の皆様にも安心して就業していただくためには、会社運営の基礎となる内部事務が適正に行われていることは基本中の基本であり極めて重要なことであると認識しております。

これまでの間、事務局職員の協力のもと事務改善を進め、公益社団法人としてあるべき姿に少しずつですが近づいてきているものと実感しております。

本年は事務局職員とともに事務改善の総仕上げを行ない、会員の皆様が生きがいをもって就業できるよう、そして胸を張って八千代市シルバー人材センターを誇れるよう誠心誠意取り組んでまいります。

本年もどうぞよろしく願います。



次長  
(総務課長事務取扱)  
木村 敏大

## 人生 100 年時代に向けた 社会福祉協議会の取り組み

社会福祉協議会は市の外郭団体であり、社会福祉に関する法律や制度の狭間にある生活課題を解決するために市民の皆様をはじめ、関係団体、機関、地元企業などのお力を最大限發揮いただけるよう連絡・調整させていただき安心して暮らせる福祉のまちづくりを推進しています。「人生 100 年時代」を迎えるにあたり、国では「一億総活躍社会」「地域共生社会」を掲げ、全国社会福祉協議会でも「高齢者から若者まで、すべての国民に活躍の場があり、元気に活躍し続けられる社会、安心して暮らすことのできる社会を作ること」を方向性として示しています。

八千代市社会福祉協議会ではこの方向性に沿い、ご高齢の皆様ができるだけ健康を維持できるよう活動の場を設け、すでに多くの皆様にご活躍いただいております。今やご高齢の皆様は当会にとりまして必要不可欠なとても大事な存在となっています。

当会の中にあります、「ボランティアセンター」はボランティアに興味を持つ方、ボランティアを必要としている方の窓口です。こちらでは多くの方にご登録いただき、保育や障害者への支援、福祉施設での活動など幅広くご活躍いただいております。そのほかの活動としましては、有償で生活の困りごとについて支えあう活動、日常生活自立支援事業という福祉サービスの利用や金銭の出し入れを支援する事業、後見人を支援する活動、当会の車両を利用し公共交通機関の利用が困難な方の移送サービス等、様々な場所でご活躍いただいております。

また、当会ではご高齢の方向けの講座として、地域包括支援センターとの共催や長寿会の方対象に「担い手養成講座」と題し、ご高齢の方でもできるボランティア活動について講座を開催しています。市内に 21 ヶ所設置している「支会」では健康増進のための介護予防サロン等を実施しています。

その一方で、当会ではご高齢の方についての理解を深める活動もしています。「福祉教育」ということで、市内の小中高等学校に出向き、福祉についての講話や高齢者、障害者など「支えられる側」とされがちな方たちに同行いただき、直接ふれあう中で、その方たちの「できること」を見聞きしてもらい、ご高齢の方も「支える側」となることを学んでいただいております。

これからも当会ではご高齢の方がますますご活躍いただき、お元気で 100 歳が迎えられよう、様々な活躍の機会をご提供できるよう努めてまいります。



八千代市社会  
福祉協議会事務局長  
八千代市シルバー  
人材センター理事  
村田 和子



## 20年を顧みて“光陰矢の如し”

平成11年5月に現役を引退し、その10月センターに入会しました。請負作業として「筆耕業務」の登録をし、周囲皆さんの暖かいご支援を頂きながら早や20年、正しく“光陰矢の如し、”で、八千代市内公共・民間の団体・個人を通して賞状類の筆耕や時には催事のポスター、宛名書き等多岐にわたりました。

現地へ出張して書き上げる時もあり、市民体育館での合気道大会や福祉センター内では囲碁将棋大会、又ふるさと親子祭では、灯ろう流しの受付を兼ねながら約700件の短冊に戒、俗名を揮毫するなどの作業も体験し、こちらの作業は現在も続いています。

この20年間いったい市民何名さまのお名前を書かせて頂いたのでしょうか、自分でも想像を絶する位の人数を振り返った時、少しは市民の皆さまへのお役に立つことができていたか自省する昨今です。そのご支援に感謝を重ね引き続き頑張っていく所存でございます。

パソコン時代の到来により毛筆書き自体が減少しつつありますが、多少の仕事に拘わらず誠意をもって対応することを念頭にセンターはもとより市民皆さまのご発展を祈念し所感とさせていただきます。



春山 茂雄  
阿蘇班

## 10年表彰を受けての雑感

60代半ばで入会し大和田北第一駐輪場で6年間、大和田南第一駐輪場で5年間はあっという間の11年間でした。当初から、私は難聴でお客様との会話に支障をきたすと予想されることから管理業務はお断りし自転車整理業務一本でやらせて頂けたことは誠に有難いことでした。

入会したころは『まあ4～5年は』と漠然と思っていましたが、始めてみると単純な作業ではありますが小さな充実感、安らぎをおぼえていました。仕事が一段落したころ『お茶が入ったよ～』と管理員から休憩の声が掛かったり、事務室、トイレはいつも清潔で整理され、勿論、利用者への対応もしっかりと丁寧であったことなど。このような先輩諸氏のお陰で職場の雰囲気がとても良かったことがその要因であったことは間違いありません。お陰様で猛暑でも大雪でも大雨でも就業が嫌であったことは一度もありませんでした。

現在も然りですが、唯一の気掛かりは朝番の早朝4時半頃の起床で、難聴で目覚まし時計が使えないため（就寝時は補聴器を除湿のため外す）、また妻も仕事を抱えていて頼むことは躊躇われたので何とか自身で定刻に目覚めることでした。

週に一、二度の朝番が生活に適度な回転と緊張感をもたらし、健康と老化防止に役立っているのだと思います。何の義務・責任のない自由気儘な生活はボケを誘発すると思っています。できる限り体を動かし人と交わることが肝要だと。当初から自転車の整理という単純な作業の中で如何に利用者に気持ちよく利用して頂くかを気に掛けました。勿論、朝晩の『おはようございます』『おかえりなさい』『おつかれさまでした』の声掛けの指導はありましたが、それは全く当然のことであり、整理の観点からやはり場内をきれいに保つことに尽きると。それで先ずは自転車をきれいに手際よく整列させるにはどうしたらと色々試行錯誤したことを懐かしく思い出します。



井上 捷二  
大和田班

その後、利用者へのアンケートで『きれいに並べられて自転車を大事に扱って頂いていることがよくわかります』との回答を見た時はよかったと・・・今後少子高齢社会が進展するとき、高齢者の生きがいの充実と健康維持、そして地域社会の維持、発展に多少なりとも寄与できるよう、足手まといにならぬよう、一寸気を引き締めているところです。まだまだやります。関係者の皆様今後ともよろしくお願い致します。



## リセット人生 10年の振り返り



井上 忠夫  
勝田班

40数年のサラリーマン（営業）生活を終えて暫くの空白こそあったが、働きたい意欲は残っていた。生涯現役などと肩肘はってはいしたが、健康あってこそその人生は言うまでのない。これからはリセット・リフレッシュだと。シルバー人材センターの存在を知り、どんなものか？と説明会にのぞむ。平成21年12月、初めてシルバー人材センターの業務内容を知り、後日、駐輪場整理業務の紹介を頂き、早速勝田台南第一駐輪場の整理業務に就いた。丁度冬場で寒さの始まる季節であったが、早朝5時40分頃駐輪場に赴き整理作業のイロハから教わった。初日は前任者のT氏からコンクリート床にモップをかける、自転車の並べ方・並べ位置などを教わる。二日目はM氏から屋外の清掃、一時利用自転車の駐車機械へ誘導・案内の仕方などについて。前任者はほぼ同年代ではあるが、夫々違う職場経験をおもちだったか、要は「郷に入ったら郷に従え」で、言われる俣に見習い研修の数日であった。

実務に入って地下階から屋上階まで4層は日によって受け持ちは変わるが、寒さ厳しい朝でもモップかけはじわりと汗が出てくるような運動量を感じた。どの階のご利用者も兎に角朝は忙しげ。もう少し余裕をおもちになればいいのに……。鍵をかけ忘れて走って階段のステップを駆け下りる学生、手袋を前籠に置き忘れ走って取りに戻られる会社勤め？の方とか。

翌年10月に管理人の職務を命じられ、その仕事を教わった。整理と違って金銭の授受が絡むだけに慎重にならざるをえない。振り返れば、利用申込人の市内・市外を間違った料金で受付をしてしまい、後刻ご利用者に詫言を入れながら再処理を行うなど「慌て者奴が」と怒られそうな失敗もあった。ただ、前任者のYさんやOさんには何かとお世話を戴いたことには感謝したい。（Yさんは退職後、勝田台北の自転車一時利用を何度も戴いている）その後Oさんは配属換えで他の駐輪場の管理人で移られたが、ある日突然の病魔に襲われ帰らぬ人となられたことは、口惜しい思い出である。趣味の畑談義を楽しんだりしたものだから。また、Oさんは、ふれあいプラザなどで八千代市民対象にコーラスの指導もされていた等から想像もできないことだった。人生健康あってのものだ……。を痛感する。

暫くして、近くの南第二も併せてみることになり、一時利用機械の入出金など若干仕事の幅も広がったが、大きなミスもなく対応できたことは嬉しいことだった。南第一と南第二は合算すると収容台数も大きく、従って従事する人数も多く（曜日によって会う人は変わるが）、互いに交流をもつ機会が増えたことは喜ばしいことだった。そして間もなく現就業地・勝田台北駐輪場の管理に移る。12月のことだったが、翌年3月末までは管理人5名（通常4名体制）になり、前任者の方々の就業日数を減らすことになって申し訳ないこと、肩身の狭かったことを思い出す。

同じシルバー仲間でも駐輪場が変われば気質も変わる。これはしょうがないことだが、概していえば声の大・小も気になったりする。

勝田台北駐輪場は原付の定期利用と自転車・原付の一時利用の併用業務である。先に南第一から異動されていたKさんがおられ何かと心強かったことを記憶しているが、その後も何人か異動してこられたことは気持ちを楽しませた。日頃は、一時利用の度に100円・200円の徴収がベースになりご利用の方々との接触機会が多いので心身のリフレッシュは大いに神経を使う。間違っても二日酔いでは就業できない。前日夜からある意味では就業時間に入っていた。午前番と午後番があるが、午前番では早暁3時半前に目が覚めるように体内時計が成ってきた。そして5時前には前日の日計表を確認できた。

「おはようございます」「いってらっしゃい」「おかえりなさい」「おつかれさまでした」の大きな声が交叉する勝田台北駐輪場は、現メンバー全員の誇りです。整理の方々のご利用者の顔で持ち自転車に分かるほど。これはお客様も驚いている様子を常々見る。もう10年、振り返ればアツという間です。「光陰矢の如し」と言う言葉は従前から承知していたが、昨今の時の流れは、それを超越しているような。人生100年と最近こそ言われていますが、これから1年、3年、5年……の日々にこれまでの過去をどれだけ役立てるか。これまた、「健康あってこそ」を胆に銘じたいと思う。1年毎のリセットを大切にしたい。「畑仕事マスク着けずにできる幸」これは新聞の川柳欄に載っていた一句ですが、コロナ禍の中にあっても秋晴れのもと、趣味で健康が築けること、実りの一物を得られることは嬉しいことです。

## 10年の思い出

今から10数年前に某企業を退職し、しばらく旅行、ゴルフなどで楽しんでおりましたが、いよいよ暇を持て余し、妻の目も気になり始め、シルバー人材センターにお世話になることになりました。

今回10年表彰をしていただけることになりましたが、よくここまでやれたなというのが正直な感想です。企業時代の交流関係とは違い、各方面、各職業のお客さんと接触し、世の中本当に100人100色だなあと改めて第2の人生をかみしめさせてもらっています。お客様で多少忍耐力がついたように思います。

この10年で一番の思い出は管理人一年目に起きた東日本大震災であります。震災後に計画停電というのがあり、自分の就業の日（特に遅番）に当たると、夜帰ってくるお客さんのために管理人と整理員の2人で足元を懐中電灯で照らし自転車のところまで案内したものです。しかもこの時は3月で新年度契約の時期に当たり、大きな懐中電灯で机上を照らし、受付、日報の処理などもしてかなり混乱したと思います。その繁忙さについて今ではあまり覚えていませんが、もし今の年齢だったら大変だったと思います。

その他種々ありましたが、この10年間病気で休んだことは一度もなく、健康で仕事を続けてこられたこと、シルバー人材センター及び職場の皆さんに感謝申し上げます。



楠 修  
八千代台南班

## 10年を振り返って

私がシルバー人材センターに入会したキッカケは定年退職してさあこれからはのんびりしようと思い一週間程ゴロゴロしていたが一時間、半日、一日がすごく長く感じられ、とてもこれからはこんな生活は続けられないと思い、少し運動がてら出来る仕事を探そうの気持ちで入会しました。沢山の業務内容の中から自分の経験を生かせる仕事として接客業でもある駐輪場を選び勝田台南第一駐輪場に配属され整理員として就業する事になり多くの先輩から作業内容を教えて頂き自分なりに努力してまいりました。

その後勝田台北口駐輪場に異動になり管理人になって契約を含めいろいろな応待が始まり自分を相手の立場に置き換えて話したり、受付の応待の仕方など工夫し、常連のお客様、一期一会のお客様に「お疲れさま」、「いってらっしゃい」雑談等声掛けする事によって親近感が生まれ自分も気分よく就業出来る事にこの仕事は天職だと思い今日迄就業出来たと思います。

信念を持って行動すればどんな状況になっても対処出来るという自信ができ、これからあと何年仕事出来るか判りませんが何才になったら何をやる、何をやめるとリセットしながら計画を立て楽しい時間を持ちたいと思います。



川島 隆一  
勝田班

---

## イトーヨーカ堂八千代店

シルバー人材センターでお世話になり、10年の月日、あっという間でした。

面接が終わった翌日からイトーヨーカ堂八千代店の精肉部門の、対面販売で働くようになり、お客様との接客、慣れない仕事の日々で奮闘した事を今では懐かしい思い出となっています。

シルバーの先輩に教えて頂き一日一日と成長して行ったものですが、失敗も多々ありました。そんな時、周りの人が助けて頂いたものです。感謝、感謝です。

朝仕事に行く時は家の中も心の中も整理して出掛けて行ったものです。年を取り、人の中で仕事をする楽しみを感じながら、有り難い気持ちでいっぱいです。

自主・自立・共働・共助をモットーにして成長し、迷惑にならない様に体のつづく限り、後、少しですが働かせて頂きたいと思います。

シルバースタッフの皆さん毎日ご苦労様です。  
あたたかく見守って頂きたい思いでいっぱいです。



熊代 マツ子  
勝田班

## 交流の場「つどい」

「つどい」の前身は2016年9月開設の、シルバー人材センター勝田台出張所「サロンお茶日和」です。京成勝田台駅南口の高齢化が進む住宅地区の中心で且つ勝田台中央公園に隣接した最適な立地の2部屋続きの平屋事務所を賃借し、地域の高齢者を対象にお茶を用意した無料の休憩所として発足致しました。

歓談を中心とした活動にテーブルゲームや歌声サークルなどが加わり利用度が伸び、当初月20人程度の来所者はその後250人を超えるようになりましたが2019年3月末で閉所が決定。翌月に受け皿として会員制高齢者クラブ「つどい」を来所者有志が立ち上げ、関係者のご尽力とご協力で幸いにも同じ場所で活動出来る事となりました。

運営は会費(1,000円/月)、寄付(100円/参加日)、市補助金(120,000円/年)等で賄っています。ゲームやカラオケの備品、設備はほとんど利用者の持ち寄りや善意の方の寄付です。

コロナ自粛以後は対策の一環として規模(定員)と時間も縮小して運営しています。活動は歓談以外では麻雀(日、月、火、金、土)、囲碁(月、火、水、金)、カラオケ(水)、名画ビデオ鑑賞(第4木)等です。金曜の囲碁(午前10時～午後1時)以外は午後のみ活動(午後1時～4時)で、「つどい」で過ごした後は目の前の中央公園で4時過ぎから始まる市民体操に参加し、テーブルゲームでの心身のコリをほぐし、身体機能の維持・強化を図るよう勧めています。



「つどい」勝田台2丁目8番地



最近では特に女性の麻雀ゲームとカラオケへの参加希望者が増え、麻雀初心者教室なども開いています。今後とも地域高齢者の有意な要望に沿える柔軟な対応が必要でしょう。

ご興味のある方は是非一度お尋ね下さい。



### 皆さんの声

吉田さん 諦めていた趣味の麻雀が再開できて嬉しい。

(この為千葉市の自宅を売って勝田台に正式に転居した)

清水さん 趣味の麻雀が気楽に出来て楽しい。

他麻雀参加者 同上

石田さん 麻雀などで皆さんとワイワイ出来るのが楽しい。

只野さん 引退後の無聊が麻雀、カラオケで癒される。

濱口さん 土・日・水の楽しみが出来ました。(麻雀、カラオケ)

及川さん ボケ防止に麻雀を始めたが、結構楽しい。

水谷さん 健康麻雀教室で何とかゲームに参加できるようになった。

飯郷さん 麻雀後の公園での体操も楽しみ。

袴田さん 健康麻雀を覚え、プレーが楽しい。

他麻雀初心者 同上

田代さん 近くで気楽に囲碁が楽しめて助かる。たまには体操も。

他囲碁参加者 同上

柳谷さん こんなに換気が良く安心できるカラオケは無い。

竹内さん 気楽に安心してカラオケが楽しめる。

他カラオケ参加者 同上

関戸さん 皆さんと話すのが楽しい。時々囲碁も体操も楽しむ。

金田さん こんな条件の良いギター練習場は少ない。

(部屋貸し)



(近く) で (気楽) で (安心) で (楽しい) が共通項のようです。

## 女性部「百合の会」

あけましておめでとうございます。

会員の皆様には清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃は一方ならぬご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

平成25年に女性会、通称「百合の会」が発足し、4部門を立ち上げ、事業部では「ど〜んと祭」等の参加や手芸品等の製作を、広報部の機関誌発行、研修部の研修会や講習会開催等の取り組み、またボランティア部は地域社会にての支援活動等、それぞれにて女性の活躍の場を広げ、また、全体会におきましては、太巻き寿司作り、情報、意見交換、認知症サポーターの講習会、家庭における介護実技、石井食品（株）への見学、親睦を兼ねた食事会、他県への視察等で親交も深めました。

また、月2回、物作りの出来る会員の方にご指導を戴き、興味のある方達が集まり（誰でも参加できますので気軽にご参加下さい）和気あいあいと雑談等をしながら、いろいろな物を作って楽しむ活動もしており、作品は「ど〜んと祭」「黒沢池たたら祭」に出展、多くの方に「百合の会」を知ってもらい、女性会員の入会の促進にもつなげる事が出来ました。

令和2年度に、女性の活躍の場を広げ、就業の拡大を図り、女性会員を増やしたいという主旨から「女性会員委員会」を設置しました。

会員の就業を通じて仲間を得て、楽しい日々が送れたら、それが自らの健康にもつながると思います。

この度、新型コロナウイルス禍という前例のない事態に直面し、感染拡大を懸念し第1回全体会は皆様のご協力を得てアンケート形式にさせていただきました。

今後も引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。



女性会員委員会 委員長  
外山 ノブ子  
勝田班



八千代ふるさとステーションに展示

## 女性はじめて刈払機

春田 ミチ子 高津班

私は知人の紹介でシルバー人材センターに入会しました。  
センターから道路の植込み除草作業の紹介があり、女性は私ひとりでしたが以前も体を動かす仕事をしていたので参加しました。  
作業を進める中で男性会員が使用している刈払機を使用してみたいという気持ちがあったので8月の「刈払機取扱い講習会」に参加しました。  
10月からの植込み除草作業で「刈払機やってみれば」と声をかけてもらいましたので講習会で学んだことを思い出し実践してみました。  
使用していくうちにコツをおぼえ刈払機要員の一人として就業しています。  
今は、刈払機を使用する機会をもらい、日々上達できるよう、これからも自分なりに頑張っ  
て行こうと思っています。



# 空き缶で風車作り

阿井 秀次 村上班

ニュース番組の特集コーナーの中で空き缶の風車作りを偶然みました。  
ああすごいなー、いいなーと、自分でも作れるんじゃないか?と思いました。  
翌日からとりあえず見よう見まねで作ってはみましたが切り口がきたない、針金の長さ曲げが悪く、当然回りも悪い。少しずつ自分で考えあーだこーだと数を作っていくうちに段々と羽根の枚数、針金の長さ曲げが分かるようになりました。  
自分はビール等アルコールが飲めないので兄弟に頼んでビールやコーラのアルミ缶を集めてもらいました。数多く作る事である程度自分も納得できる物が作れるようになった。  
やはり一番の苦労は、潰れていない傷のない空き缶を集めることでした。

## (材料と道具)



アルミ缶  
カッターナイフ、キリ、  
ラジオペンチ、  
サインペン、プライヤー、  
針金 (ワイヤー) 太さ0.08インチ  
長さ50センチ  
羽根カット用スケール

## (作り方)

1. 空き缶上部センターに穴あけ及び下部に水抜き用穴あけ 写真No.1 No.2 No.3



No.1



No.2



No.3



(作り方)

2. 空き缶上部, 下部にゲージでマーク。写真No.4



No.4



出来上がった作品をど〜んと祭に

3. マークに切り込み用ゲージを合わせてカッターナイフでスジをつける。

写真 No.5 No.6 No.7



No.5



No.6



No.7

4. スジをつけた場所を両指で折り曲げるように。写真 No.8



No.8

## (作り方)

5. 切った羽根の上、下にペンチで折る、角度をつける。写真 No.9. No.10 No.11



No.9



No.10



No.11

6. 全ての羽根に切って折り曲げた形。写真 No.12



No.12



No.13

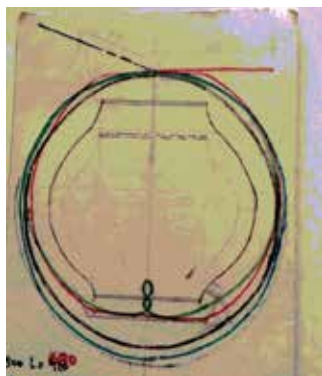


No.14

7. 針金（ワイヤー）を曲げて吊込み。写真 No.13. No.14 No.15



No.15



針金の図面



作品

## 傘寿を迎えて

野中 義行 八千代台東班

私は平成12年に60才となり、シルバー人材センターと、街づくり市民の会に入会しました。

シルバー人材センターでは仕事がなく、街づくり市民の会での活動をするようになり、会の拠点となる米本城址内で会員の風間さんの土地が借りられることとなり荒れ果てた竹藪の伐採からスタートしました。少し開けた所で、掘建て小屋をつくり拠点の第一歩となりました。今では食事も作れる立派な建物となっています。(電気も2年前よりひけました。)竹がたくさんあることから、竹炭を造ることに力を入れドラム缶での炭焼きを開始しました。炭及び炭花籠の実演販売も行いました。最近は竹がなくなり中止しています。

会として最初に取り組んだ活動は、新川清掃で、今では行政・市民が一体となって継続されて、新川開催に尽力された「染谷源右衛門さん」を称える源右衛門祭の中でも新川清掃は欠かせないイベントで参加者には豚汁を振舞っています。当初は寸銅鍋で作っていましたが平成16年に2m(直径)の源右衛門大鍋を作成し、現在では5千食出来る様になりました。この鍋でもって平成24年に全国鍋グランプリに初参加することとなり、豚汁にもち豚炙りチャーシューを乗せた源右衛門鍋で参加して2位に入賞し、3年連続で2位、参加4年目で1位金賞となりました。現在は、この鍋で八千代市で行われている各行事に参加しています。

シルバー人材センターの仕事ですが、入会から8年後の平成20年に自転車保管所に採用され苦情やトラブルの多い職場に8年間勤務、1年後に大和田北第一駐輪場の整理員となり、現在は3年目を向かえています。大和田北第一の人達は良い人ばかりで、楽しく働かせてもらっています。

業務内容は、朝一番で清掃を行い以後は自転車整理・整頓と午前中は「おはようございます」「いってらっしゃい」、午後は「おかえりなさい」「おつかれさまでした」と大きな声を出して頑張っています。

10月の日曜にシルバーより電話があり、10月で80才ですね。代わりの人が見つかったら終職との連絡を頂きました。

12年間の長いあいだ勤めさせて頂きありがとうございます。



右の旗を持っているのが私です

## 会員になって思うこと

”仕事命”を背負って40数年後、第2の人生  
”生涯青春”の道を歩むべく動き始めたのが6年前のことである。

自由になった多くの時間を放送大学で”宇宙を読み解く”講座に没頭、週4日は新川サイクリングロードを陽が暮れるまでペダルを踏んで、中央図書館で大文字の雑誌を開いたものですが、数か月で終了。これはまずいと・・・その後”生涯青春”の道を捜すべくシルバー人材センターの門をたたいた次第です。

思うに駐輪場業務にかかわって6年、正味、朝の5時からの8時間、夜は8時までの8時間暑さの中、強風の中、雨の中そして雪降る中、皆勤賞をいただくほどの頑張りの源泉は何だったか？

現役サラリーマン時代をしのぐ頑張りは何処からきたのか問う日々です。

シルバー人材センターに門戸を開いて良かった。の言葉に尽きます。

いわく、「学びて時にそれを習う。喜ばしからずや！」

「友あり、遠方より来る。これまた、楽しからずや！」

駐輪場業務の諸活動は、将に新しき第2の人生の”青春の場”を提供してくれています。

この春からは今も新型コロナの渦中にあり、非日常生活の上のシルバー人材センターの活動いかにあるべきかを考える時代となりました。

ここにきて、仕事のやり口”テレワーク”だの”ワーケーション”だのと働き方改革が進む中、ハンコ行政改革を含め市の行政もまったなしの改革が叫ばれる中、シルバー人材センターこそあるべき姿を総合的俯瞰的に評価する時期となったと考えています。

わたしは静かにチャレンジし続けます。

WITHコロナ時代が続きます、この苦境の中会員数も増加を見るのが必定。シルバー人材センターの役割は大きい。シルバー会員の身の置ける場の拡大を大いに期待しています。



丸山 邦夫  
大和田新田班



## ボランティア活動体験

大井 幸登 睦班

ボランティア活動を始めたきっかけは広報やちよで募集した里山整備ボランティア人材育成講座（里山楽校）にシルバーの友人に誘われて、二人で受講したことからです。市の方針に基づき、講座修了後、里山活動団体を結成、講座開設6期生ということで、「八千代里山ロック隊」を命名し、八千代市島田台で里山保全活動を開始し、約4年になりますが、現在12名のメンバーで楽しく活動しています。

ボランティア活動は八千代島田台里山の密集した竹の切りだし、倒木の撤去、樹木の間引き、切り出した竹、樹木類はチップパー（粉砕機）を利用して、チップにし、整備した里山遊歩道に散布しています。月2回の活動毎に太陽光が差し込む量も多くなり、里山が明るく、時には花が咲き、整備されていく姿は楽しみでもあり、新川、田園風景を眺めることで野外ボランティア活動の醍醐味を味わえます。



昼食時には、静かな里山で持参した弁当、野焼きで作った焼き芋、豚汁等を食べながら、各隊員と談笑するのも又楽しいものです。

将来、里山の竹資源を活用して、竹を切りだし、チップパー（粉砕機）を利用して、チップ加工、竹パウダー加工、竹炭焼き、竹酢液採取製品作り、熊手や、竹トンボ作り等を里山活動団体と連携して、シルバー人材センターの独自事業と結び付け、シルバー会員が生き生きと八千代の里山でアウトドアを楽しみながら、環境保全を目標に地域社会に貢献出来れば素晴らしいと思っています。



# 八千代市の歴史

## はじめに

八千代市は、千葉県北西部の葛南地域に位置する人口、20万1千人を超える市。

令和2年8月末現在、人口20万1千557名 男性、9万9千596名女性、10万1千961名、世帯数、9万1千549世帯千葉県では市原市に次いで第7位の人口規模で住宅団地発祥の地と知られており、現在も東葉高速線沿線を中心に宅地開発事業が行われている住宅都市。市内には旧石器時代の遺跡が残されており、約3万年前からこの地に人が住んでいたとされる。また菅原道真のたたりを恐れた藤原時平の妻と娘が関東地区に逃れ、高津地区に住み着いたといわれている。中世には米本城が構築され、1558年、城主の村上綱清（清和源氏村上氏流千葉家臣）が原因不明の自殺をし廃城になり、江戸時代には佐倉藩領・天領・旗本領に分けられた。成田街道大和田宿は、成田山新勝寺への参拝客（成田参詣）のための宿場町として栄え、明治37年、東京・成田間に鉄道を通すことが国の承認で京成電気軌道会社の発足、大正15年12月24日、成田まで全面開通となり、多くの参拝客の鉄道利用により大和田宿も宿場の役割を終えることとなります。



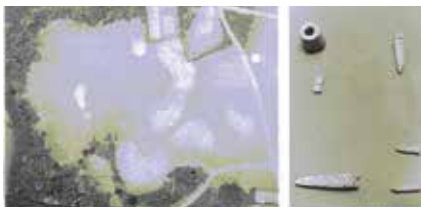
渡部 秋夫  
八千代台北班

## 八千代の縄文時代

1万3千年前に始まり市内では、まだ確認されていませんが印旛沼を隔てた印西市などで草創期の土器が発見され、八千代でも人々の暮らしが営まれていたと考えられており、以降約1万年間縄文時代が続く。また市内には10箇所の貝塚が所在し、佐山貝塚・神野貝塚などは、縄文文化を物語る重要な資料を豊富に持ち良好に保存されている貝塚として知られている。



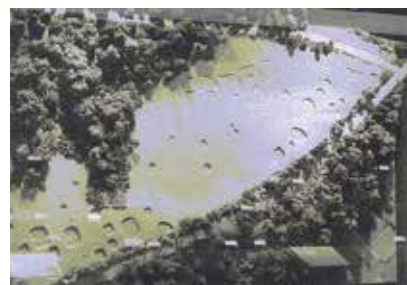
神野貝塚の貝の散布状態 佐山貝塚出土土器



佐山貝塚の現状と散布する貝 骨で作った道具

## 弥生時代

弥生時代は稲作の開始と大陸文化の受容で特徴づけられる時代です。八千代の地に人々の足跡は極めて少なくなり移り変わりの様子はよく分かりません。近くでは佐倉市岩名天明前遺跡などが知られています。ただ、この時期の土器だけが村近くでは佐倉市岩名天明前遺跡などが知られている。ただ、この時期の土器だけが村上の沖塚遺跡で見つかる、中期後半は竪穴住居が複数造られ保品の栗谷遺跡では竪穴住居5軒と村の首長を埋葬した方形周溝墓11基が見つかる！佐山の田原窪遺跡では村の周りに堀を巡らせた環濠集落が発見されています。上高野の上高野白幡遺跡・米本の逆水遺跡などもこの頃の時代。



栗谷遺跡

## 古墳時代

八千代市域にも古墳が造られ始め、島田台の間見穴遺跡002号墳は、全長28mの方墳で一部が調査され周構内の埋葬施設は追葬されたものと考えられる。水晶玉や緑色擬灰岩製の菅玉、ガラ

ス玉などが副葬壺型埴輪も出土しました。神野芝山4号墳という径50mの大型円墳があったと伝えられていますが大正から昭和にかけて破壊される。しかしそこから出土したと言う石枕が残っており市の指定文化財になっている。市内最大、全長50mの前方後円墳である根上神社古墳（市、指定文化財）竜角寺岩古墳の石堂を持つ大型円墳があったと伝えられているが大正から昭和にかけて破壊される。市内最大、全長50mの前方後円墳である根上神社古墳（市、指定文化財）竜角寺岩古墳の石堂を持つ円墳の沖塚古墳、軟砂岩の石堂をもち多くの副葬品が見つかった方墳の村上1号墳等は後期から終末期の村上一帯の有力者のものではないかといわれている。



根上神社



根上神社古墳

### 奈良・平安時代

平安時代の10世紀に成立したとされる（和名類聚抄）という書物に、下総国印旛郡に11の郷があったことが記載されている。その中に、村上郷があり村神郷は印旛沼南西岸から新川流域、すなわち現在の八千代市域の多くの部分が含まれると推定される。市内の代表的な、奈良・平安時代の集落遺跡を列挙すると、市域北東部、古代の印旛沼沿岸地域にあたる保品には上谷遺跡・栗谷遺跡、同じく神野には向境遺跡・境堀遺跡などがある、新川中流東岸、村上には、村上込の内遺跡・殿内遺跡・浅間遺跡、また新川中流の西岸の萱田には萱田遺跡群として権現後遺跡・井戸向遺跡・白幡前遺跡などがあり市域に関わる地名としては村上以外に「高津」「草田」・・・草田は白幡前遺跡出土の9世紀初頭と考えられる須恵器の墨書で「やかた」と読めるため後の「萱田」につながるものと考えられる。



上谷遺跡の航空写真



萱田遺跡群

### 鎌倉時代（八千代正覚院）

おしどり寺として親しまれている池證山鴨鴛寺正覚院は村上に所在する寺院で寺院建立の由緒や釈迦堂に安置されている木造釈迦如来立像にまつわる伝説は現在まで縁起によって伝えられている。正覚院には県指定有形文化財、木造釈迦如来立像や市内最古の宝篋印塔（「宝篋印陀羅尼経」を納めた供養等）などの文化財がのこされている。



正覚院

木造釈迦如来立像は市内で最も古い鎌倉時代後期の作と考えられていて（千葉県指定有形文化財）、秘仏とされ年一回の仏誕会（花祭り）の日だけ一般公開されています。



正覚院本堂



正覚院釈迦堂

### 戦国時代（米本城 & 村上綱清）「臼井城という説もあり」

八千代市には、戦国時代、村上綱清という米本城主がいたと言い伝えられていた。戦国時代、村上民部大輔綱清が城主であった米本城は上杉家の家臣太田道灌の攻撃を受けて綱清は戦に敗れ、家臣七百名余りと共に氏神の境内に逃れ、全員自刃したと伝えられた。その結果、七百餘所大明神という社名になったといわれている。（現在の七百餘所神社）太田道灌はこの時、現在の飯綱神社の場所に砦を作り、待仏の十一面観音に勝てばこの地に祀るといふ誓いを立て、銀杏の木の下に埋めたとされます。しかし綱清は、江戸時代に佐倉藩の磯部昌言が書いた「佐倉風土記」によると、天文・弘治年間に米本城主となり、永禄元年に落城して自害したと書いてある。江戸時代末期、佐原の国学者、清宮秀堅が下総国内の地誌等を調査してまとめた「下総旧事」の原本を調査しここに記録されていた「永禄3年10月14日付北条家朱印状写」の添い書きに「米本村加茂文左衛門所蔵文書」とありこの古文書の原本添い書きにより永禄3年に北条家の所領を綱清に与えた文書が綱清の家老、米本村の加茂家に存在した可能性があり米本城と綱清を結びつける接点となる史料を見出したことになり今後の村上綱清の研究において大きな意味をなすものと期待される。



飯綱神社



村上綱清の墓



飯綱神社本殿



米本城



七百餘所神社



## 印旛沼掘割普請（江戸時代から昭和）

八千代市の中央を縦断する印旛沼放水路は、通称「新川」といいます。この「新川」という名称は、江戸時代の天保7年には使われており、印旛沼掘割普請よりも以前の様子について「千葉県印旛沼誌」には阿蘇沼から印旛沼に注ぐところありと記述され古川が流れていたと推定できる。源流は勝田川と高津川で現在の大和田排水機場周辺で合流し印旛沼に流れていたとされる。



田沼意次〔画像〕  
(豊島区萬年山勝林寺蔵)



水野忠邦〔画像〕  
(東京都立大学図書館蔵)



下総国印旛沼普請堀割新川図

「天保7年、米本村絵図」では古川は「新川」の周辺を蛇行するように流れていたと絵図から解ります。

### \* 最初の印旛沼掘割普請

享保7年7月、日本橋に新田開発の高札が掲げられ下総国、千葉平戸村の染谷源右衛門らは、享保9年8月印旛沼の新田開発を幕府に願い出る。幕府は普請を見積もる役人として井沢為水(勘定奉行下役)らを派遣し、掘割筋の長さや面積、人足数と費用等を調査する。源右衛門は井沢の調査結果に基づき普請を請負、幕府より数千両の資金提供を受け同士と共に工事に着手する。掘割筋の屈折が激しい為に水を落とせず、さらに幕府から受けた資金ではならず、源右衛門らも資金を注ぎ込みましたが7～8名の同士とともに多額の負債を抱えてしまい、普請は中止になる。

### \* 天明期

天明2年・ときの老中田沼意次のもとで印旛沼掘割普請が始められる事になり天明元年8月に島田村名主治郎兵衛らから幕府代官宮村高豊に掘割普請を含む印旛沼開発のための目論見書(計画書)を提出し、平戸橋から始まる普請内容と費用・利点・人足数と賃金・堀床などが記され、掘割筋は直線的に掘り直し水を落としやすくする計画!天明6年5月から雨が断続的に降り続き、普請所も破滅的な打撃を受け、8月に老中田沼意次が失脚になり掘割普請は中止に追い込まれる。なお中止後は幕府による潰れ地の補償が行われ、島田村の名主治郎兵衛が仲介をしたと伝えられている。

### \* 天保期

天保14年、3回目の印旛沼掘割普請を、老中水野忠邦のもとに進められ天保11年～13年勘定奉行らが印旛沼周辺を調査。天保13年10月、柏井村と花島村の難所で試堀が行われ普請役格の二宮金次郎も加わる。天保14年6月手伝い普請の大名が決まり平戸村の印旛沼口から横戸村を沼津藩、水野忠武、横戸村から柏井村を庄内藩、酒井忠発、柏井村から花島村を鳥取藩、池田慶行、花島村から畑村を貝淵藩、林忠旭、畑村から検見川村までを秋月藩、黒田長元がそれぞれ担当となり幕府側の責任者、江戸南町奉行鳥居耀蔵らで現場の治安維持や監督が主な任務であった。各藩は普請人足を集めるのに苦勞し国元から呼び寄せる百姓ではならず、黒鍬人足を雇うこととなります。天保14年7月18日、掘割普請の持場が各藩に渡され、23日、鍬入れ工期は10ヶ月

の普請を開始しました。閏9月1日から翌日にかけて大風雨に見舞われ、各藩の元小屋普請所が破壊され掘割には、大量の土砂や水が流入し大きな打撃を受ける。また、江戸城では上知令（江戸周辺の幕領化政策）をめぐり強行に推進する老中水野忠邦が苦境にたたされたうえ病気を患い、閏9月13日老中を罷免されたことにより、掘割普請の続行は難しくなり、23日に幕府より手伝い普請にかりだされた5藩は手伝い普請の任を解かれ、3回目の掘割普請も中止になった。

五大名の担当区域一覧表

順番	担当区域 (長さ)	担当大名 (藩名)	人足	小屋	合図	入用金 (両)
一の手	平戸村から 横戸村まで (2里8町)	水野出羽守 忠武(駿河国 沼津藩)	人足 13,000人 請負 350人	萱田村	打出・休共 太鼓	63,144
二の手	横戸村から 柏井村まで (18町)	酒井左衛門尉 忠器(出羽 国庄内藩)	手入5,000人 請負 500人 賔人10,000人	横戸村	打出・太鼓 休・法螺貝	117,050
三の手	柏井村から 花島村まで (10町)	松平因幡守 慶行(因幡 国鳥取藩)	人足 15,000人 請負 400人	柏井村	打出・太鼓 休・半鐘	61,500
四の手	花島村から 畑村まで (1里8町)	林藩鷹守忠 旭(上総国 貝淵藩)	人足 5,000人 請負 100人	天戸村	打出・休共 太鼓	40,000
五の手	畑村から 検見川村まで (30町)	黒田甲斐守 長元(筑前国 秋月藩)	人足 6,000人 請負 200人	馬加村	打出・休共 太鼓	10,000

\* 1里=約、4km      \* 1町=約、110m

### \* 嘉永期

天保期の掘割普請中止後の「新川」は、嘉永4年、大和田橋（大和橋）で遮断され、水の流れは上下二方向となりそれぞれ小舟が通行していた。幕府が中止した掘割筋を周辺の村々は交通の「便利」のために、維持・管理をし利用した。享保に始まり天明そして天保期と継続された掘割普請の結果、残された「新川」を幕末・維新时期には川筋の村々が自発的に守りを受け継いでゆく。

### 明治～大正時代

明治元年6月、集中豪雨により刈り入れ寸前の麦また植え付けを終わった稲も腐敗する。印旛沼周辺の農家では「23年に一度、米が採れば良いほう」と言われ洪水被害のきびしい農民の深刻さが伝わる。「印旛沼径衛記内編」によれば米の収穫が一粒もない地域があり平戸村（現：八千代市）では、82俵の年貢に対して、78俵あまりが減免になった記録が残っている。大正5年、印旛郡長の山中竹樹が郡内各町村長に呼びかけ水害予防組合を結成をする。背景には進展する利根川改修工事及び印旛沼の排水事業の具体化大正11年には利根川の印旛沼への入り口にあたる印旛沼水門が完成、水門の完成により利根川増水時の印旛沼への逆流を防ぐことができるようになり印旛沼治水上、画期的な事業になる。

### 昭和時代

昭和10年、13年、16年の大雨による印旛沼の洪水が度々起こる。昭和18年に印旛沼、手賀沼の周辺農民から、両沼の水を東京湾に放流するための疎水路開削の嘆願書を国に提出する。戦時下の為に有効な手立ては無し。昭和20年、戦争に敗れた日本は緊急開拓事業を使い国民の食糧難と引き揚げ者の就労問題を解決するために昭和21年、印旛沼、手賀沼の干拓及び土地改良を目的とする「国営印旛沼手賀沼開拓事業」をスタートさせ、昭和35年には、印旛沼排水機場

が完成し、昭和 37 年、水資源開発公団を発足させ、翌 38 年には農水省から正式に事業が公団に引き継がれ、昭和 41 年、新川と花見川をつなぐ大和田排水機場が完成。印旛沼と利根川をつなぐ長門川の酒直場水機場、酒直水門が相次いで完成した。

沼の周辺地域を守る、延長 38km の堤防と印旛沼の水を東京湾に排水するための疎水路約 16.5km も整備される。このうち上流部が八千代市を流れる「新川」。平戸から大和田の区間の川幅を広げ、川底を深くし「新川」の様相は大きく変化をしました。現在は大和田排水機場が稼動しないと流れがない。下流部は花見川とつながり、増水時には東京湾に印旛沼の水を直接流せるようになる。昭和 44 年、洪水防止・農業・工業用水を供給する多目的な印旛沼水管理施設が整備され、ここに島田村、名主治郎兵衛及び下総国千葉郡平戸村の染谷源右衛門、以来の悲願であった印旛沼の洪水対策は遂に完成をみた。多くの手を借りながら今日の「新川」が誕生した。平戸橋には新川に関わる多くの犠牲者に対し慰霊碑が祀られております。



大和田排水機場



平戸橋慰霊碑



平戸橋より印旛沼方面

\* 毎年 4 月、上旬には「新川」を開削した染谷源右衛門にちなんだ源右衛門祭が行われ、祭りの呼び物は直径 2m の源右衛門鍋で作る「とん汁」です。

### 江戸時代～昭和への移り

八千代市には、国道 296 号線、通称「成田街道」が市内を東西に横断しております。大和田は古くから宿場として栄え、現在も当時の面影を残す建物や寺院などが残されこの道は成田山新勝寺との関わりが深く、信仰の道と云われていた。

現在、初詣客の上位に毎年数えられる成田山新勝寺は、天慶 3 年に平将門の氾濫を仏の力を使い鎮めるために、朱雀天皇の勅命を受け寛朝大増正が開山しました。本尊は不動明で真言宗智山派の寺院、新勝寺の名が知れ渡ったのは、江戸時代中期に照範上人が住職になってからで宝永 3 年、京都嵯峨の大覚寺の末寺となり本堂（光明堂）を建立また江戸深川の永大寺で秘仏の不動明の出開帳（出張公開）を何度も行い、江戸庶民に新勝寺の不動明の御利益を説く。江戸時代には、地方の大名が定期的に江戸に詰める参勤交代などの制度が整い、街道の整備と宿場の設置が必要になりました。元和年間に土井利勝が佐倉藩主になり佐倉城を築き江戸までの道を整備したことから通称、佐倉道と呼ばれる。大和田宿は大和田村と萱田町からなる佐倉道の宿場で「千葉郡誌」には、大和田は鎌倉幕府の守護であった千葉常胤の子孫が移り住んだ集落と言う伝承が紹介さ

れています。元禄時代以降は、佐倉道の各宿は多くの参拝客で賑わいこの頃から、佐倉道は成田道とも呼ばれ、その結果、成田山を信仰する人たちによる講が数多く生まれ江戸や近隣の地域から団体で参拝するようになると、大和田宿の旅籠もそれぞれの地域の講専属の宿として機能し参拝客の独占も行うようになる。現在、萱田町の長妙寺には「八百屋お七の墓」があります。明治37年、東京・成田間に鉄道を通すことが国から承認されることで京成電気軌道株式会社が発足。大正15年12月24日には、東京・成田まで全面開通の運びとなり大和田駅も作られ、これを境に東京からの参拝客の多くは鉄道を利用するようになり大和田宿も宿場としての役割を終えることになる。



八百屋お七の墓

### \* 住宅団地発祥の地

昭和30年代、戦後の不況下の日本経済は神武景気（日本の高度経済成長の始まり）により景気回復の兆しが生じ、同31年の経済白書では「もはや戦後ではない」といわれ高度経済成長に突入。千葉県の人口は著しく増加し県北西部における住宅不足をひきおこす。昭和28年に千葉県住宅協会（後の千葉県住宅供給公社）設立昭和29年、全国初の住宅団地である八千代台団地の開発が始まりました。八千代台団地の建設が契機となり住宅金融公庫の融資制度も確立し全国に続々と住宅団地の造成がはじまりました。現在の八千代市には勝田台団地・高津団地・米本団地・村上団地・ゆりのき台団地等がある。



八千代台駅前住宅団地発祥の碑

### \* 工業団地の誕生

八千代市は首都圏30km、千葉中心部15kmという交通の好条件を備えており当時の町としても雇用の増大、町民所得の増加、町の財政を豊かにするなどの理由で都市計画のひとつとして工業団地を誘致いたしました！昭和37年、八千代工業団地昭和43年、上高野工業団地昭和46年、吉橋工業団地機械金属・ガラス製品・食料品関係などの工場が多く、公害等市民に迷惑のかからないように努力をしている。



八千代工業団地

## \* 市民の足

首都圏 30km 圏内にある八千代市は、通勤・通学に便利のために「住宅発祥の地」の碑の八千代台をはじめ、大規模団地等などもあり、市の人口も令和 2 年には 20 万人を越すほどになり、成田街道を中心としていた交通も大正 15 年には京成電鉄が開通し大和田にそして団地造成に併せて八千代台・勝田台に駅が設置され東葉高速の開通により村上、八千代中央、八千代緑が丘にも新たに駅が設置され、主要な道路は首都環状道路、国道 16 号線も開通・拡張されました。都心へのアクセスがとても便利になりました。

## \* 八千代市の誕生

昭和 29 年 1 月、睦村と大和田町が合併し八千代町が発足。昭和 29 年 9 月、阿蘇村と同年合併し、県標準の人口を越え印旛郡阿蘇村から千葉郡八千代町へと県下で初めて選挙区の異動を生じる合併となった。昭和 38 年、財政規模は合併時の倍になり翌年には人口 3 万人を突破し合併時の倍に昭和 41 年には 4 万人を超える。市民にとってプラスとなる市制施行の実現を図り市制承認に必要な町の整備を進め、昭和 42 年 1 月 1 日、八千代市が誕生。これにより千葉郡という行政区分は消滅した。昭和 44 年、新庁舎が完成した。昭和～平成～令和と時代が移り、八千代市の緑が丘をはじめとした若い世代が入ってくる開発真っ最中の町、八千代台を始めとした住宅団地から始まり成熟期を迎えた町、工業団地に近い、村上団地のよう外国人の移住が相次いでいる町、新たな住民が入ることにより地域社会が再び変容していこうとする町、そして大和田のようにむかしからの町、八千代を巡ると多様な町の姿に触れることができ、また住民のコミュニティ活動も盛んな印象をうけ、こうした住民の力はこれからの八千代の町の多様性を作り魅力向上のおおきな力になるでしょう。

引用・参考文献 八千代市立郷土博物館  
『八千代三万年の足跡』  
八千代市歴史民俗資料館  
『新川流域の自然と人々とのかかわりの変遷』



八千代緑が丘駅の周辺

## シルバー派遣事業

八千代市シルバー人材センターでは会員の就業機会拡大につなげるため、これまでの請負や委任による働き方だけでは対応できなかった「お客様の従業員との混在作業」や「指揮命令を受ける作業」など、多様な働き方が可能となるシルバー派遣事業を平成26年度より始めました。今では70名を超える会員が様々な派遣先で自分の能力を活かしながらいきいきと働いています。下記はその一例です。会員登録をしてあれば派遣会員登録は必要ありません。皆さんも派遣会員として働きませんか！

- 医療 医療法人社団恵仁会 セントマーガレット病院保育室  
医療法人社団心和会 荒井記念ホームフードサービス事業部  
医療法人社団心和会 新八千代病院  
医療法人社団心和会 八千代病院  
東京女子医科大学八千代医療センター
- 介護 社会福祉法人翠耀会高齢者複合施設グリーンヒル八千代台  
特別養護老人ホームグリーンヒル  
社会福祉法人鳳雄会特別養護老人ホームほうゆうの里  
社会福祉法人八千代美香会 特別養護老人ホーム美香苑
- 製造 N S ガルバ株式会社  
株式会社タツノ化学千葉工場  
株式会社共栄工業加工場  
岸和田金属株式会社千葉工場  
細谷車体工業株式会社八千代工場  
山田ダンボール株式会社千葉工場



- 物流 カンダコーポレーション株式会社3PL営業部 八千代センター  
株式会社マルニータルサービス  
株式会社スリーエス・サンキュウ千葉総合センター 配送課  
株式会社トーヨーエフピー八千代営業所



- 保育 株式会社市進ラボナナカラ八千代中央  
 合同会社八千代教育福祉事業団  
 社会福祉法人あすみ福祉会茶々おおわだみなみ保育園  
 社会福祉法人すずみ会緑が丘ひよこ保育園
- 流通 イオンディライトセキュリティ株式会社 イオンモール八千代緑が丘店  
 株式会社カスミゆりのき台店



- 株式会社マルエツ八千代中央店  
 株式会社ヨークヨークマート八千代台店  
 株式会社ヨークヨークマート勝田台店  
 株式会社ヨークヨークマート八千代村上店
- その他 イワナホーム有限会社 株式会社サンワックス 株式会社川辺 社の郷霊園  
 株式会社太平洋ゴルフサービス 公益財団法人八千代市環境緑化公社

## 八千代市シルバー人材センターゴルフ同好会

第34回大会 令和2年3月4日 (参加者37名)

優勝 西尾嘉泰 2位 栗原進 3位 高橋信次

第35回大会 令和2年10月30日 (参加者12名)

優勝 高橋信次 2位 小倉偲 3位 中川泰裕

第34回大会はコロナウイルスのために表彰式ができなかったため、第35回とあわせて表彰しました。

第33回大会まで旧八千代ゴルフ場を地元の会場として愛好してまいりましたが、次回開催は近隣の会場で行いたいと思います。

尚次回は、国際レディースゴルフ倶楽部において令和3年3月14日(日)の開催を予定しております。

会員皆様のご参加をお待ちしております。

連絡先 運営委員

高橋信次 080 - 1248 - 3831



## 事務局職員奮闘記

令和2年4月より業務課長を務めております中里 亮と申します。大和田生まれの43歳で今現在も大和田に住んでおります。私は平成14年4月にシルバー人材センターに採用され18年が経過しました。経理係として採用されましたが他の仕事も覚えないと全体の流れが見えてこないぞ!との諸先輩方の言葉を信じ、様々な仕事を行ってまいりました。少しずつ仕事を覚え業務の方も任せていただくようになり「なんでもや」担当として家庭内の困りごとに対応すべく日々就業手配に励んでおりました。メンバーは変わりましたが今現在も「便利屋」として活動していただいております。様々なご注文に対応してきましたが一番大変だったのがゴルフ場の芝の張替え作業です。

1か月の間ほぼ毎日15人ほどに現場に行っていたいただき朝から夕方まで作業をしてもらいました。現場の様子を見に行った時の会員さんの疲弊した表情は今でも忘れられません。角屋さん、本田さん、渡邊さんその節は大変お世話になりました。

仕事以外では現在、大南ファイターズという少年野球チームの監督をしており土日も休むことなく子供たちと野球に励み、勝利という1つの目標に向かい日々練習しています。平日は会員の方や事務局職員、土日は小学生、と幅広い年代の人と接する中で伝えることの難しさを日々感じておりますが自分目線ではなく、相手目線で接して初めて対等に話が出るのだと感じています。今後もそういった対応を心掛けていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



業務課長  
中里 亮

入社して初めての仕事は、緊急の仕事でした。電話がきた当日に、絵画展の準備のために絵画を徒歩で運んでほしいというご依頼でした。会員さんは快く引き受けて下さり、大変感謝しました。お客様が「助かったわ」と言ってくれたことも嬉しかったです。入社した当初から担当しているのは、パソコンサービス班と筆耕班です。筆耕班は会員数が2名でした。依頼がくる仕事量に対し、会員数が少ないという状況でした。会員さんのご協力のおかげで書道教室をたちあげ、会員数も今では10名となりました。最初の頃は私も参加させていただいたので、仕事の大変さを理解することができ、また、会員さんとも交流する機会ができとても楽しかったです。パソコンサービス班の課題は会員数が多いことに対し、仕事量が少ないことでした。会員さんのお力添えで無料パソコン相談会を開催し、パソコンサービス班を知ってもらおう努力をしました。また、有料のパソコン教室を実施したいという会員の思いがあり、たくさんの方に助けられてパソコン教室を立ち上げました。シルバー人材センターは会員さんが主役の組織です。これからも事務所の方や会員さんと話し合いながら、会員さんの活躍できる場を増やしていきたいと思っております。微力ながら、会員の皆様のために尽力していきたいと思っております。ご指導のほどお願い致します。



業務課  
服部みなみ



事務局職員紹介（ ①氏名 ②担当業務 ③趣味・特技 ④一言 ）



- ①戸田 夢
- ②業務課（派遣事業）
- ③旅行・漫画
- ④ 11月から派遣担当になりました。今後もよろしく願います。



- ①三橋 範雄
- ②総務課（入力確認作業）
- ③卓球 四ツ目垣根鑑賞・作成（少々）
- ④今年で37年目になります。業務の仕事をしていましたが、現在、総務課で佐久間さんと木下さんと働いています。



- ①笠川 幾子
- ②業務課（駅前整理、自転車保管場所、除草剪定）
- ③和太鼓、カラオケ
- ④皆様と共に、元気で明るく楽しく頑張りたいと思っております。今後ともよろしく願ひ致します。



- ①武藤 宏
- ②業務課（駐輪場）
- ③ドライブ・雨でも自転車通勤
- ④よろしく願ひいたします。



- ①中川 泰裕
- ②業務課（シルバー派遣開拓業務）
- ③市民マラソン・ゴルフ・ガーデニング
- ④入会してよかったと言って頂けることが仕事の励みになっており、今後もその声が聞けるように頑張りたいと思います。



- ①西谷 庸一
- ②業務課（イトーヨーカ堂）
- ③年間20種類の無農薬野菜づくり。季節に合わせた日本酒
- ④明るく元気で思いやりをもって、楽しく健康に過ごしましょう。

事務局職員紹介（ ①氏名 ②担当業務 ③趣味・特技 ④一言 ）



- ①大塚 敏子
- ②業務課（駐輪場）
- ③テニス
- ④早いもので 10 年が過ぎました。今後ともよろしくお願いたします。



- ①青柳 美千子
- ②業務課（派遣）
- ③ガーデニング・書道・ピアノ・バドミントン
- ④少しでも皆さまのお役に立てるよう精進する所存です。今後ともよろしくお願申し上げます。



- ①佐久間 貴子
- ②総務課（実績入力・伝票入力）
- ③ウォーキング・手芸
- ④シルバーセンターに来て 1 年が過ぎました。今後ともよろしくお願いたします。



- ①木下 佳奈子
- ②総務課（実績入力作業）
- ③猫談義
- ④日々成長できるように心掛けていく所存です。今後ともどうぞ宜しくお願致します。



- ①金田 理恵
- ②業務課（駐輪場関係）
- ③ドラマ鑑賞
- ④宜しくお願します。

あなたの庭を綺麗にしませんか

## 庭の手入れ

私達にお任せ下さい  
電話頂ければ  
お見積りいたします

## 草刈り



## 植木の手入れ



### 編集後記

新春号に対し会員の皆さまにご尽力を賜りお礼申し上げます。  
今回は会員の活動、事務局の皆さんの紹介などを入れ会員と事務局との境を超え一体になってシルバーの発展に寄与するよう作成しました。次回も会員の皆さまのご協力をお願いします。

広報委員会 委員長 細野 正行

# 一緒に働く仲間も 大募集しています

社会のために、自らのために  
あなたの豊かな経験と知識を  
活かしてみませんか

まずは会員登録を

☎ 047-484-4680 シルバー

こんなお仕事をしています

専門技術

パソコン操作支援 洋服のリフォーム  
植木の手入れ 庭の手入れ 除草

専門技能

襖・障子・網戸張替 修繕関係 賞状などの筆耕

管理

駐輪場管理 自転車整理

屋内外軽作業

マンション・病院清掃 スーパーの品出し

調理補助 工場内軽作業 時間外保育 介護士補助

物流センターのピッキング チラシの配布 イベント準備作業

家庭サービス

家事手伝い 育児支援